

在宅介護支援センター

法人内や妙高市内の介護支援専門員と、様々な課題に対応できるよう事例の検討会や自立支援につながる学習会を行っています。また、個別に研修計画を立て自己研鑽に励んでいます。



《介護支援専門員更新研修》

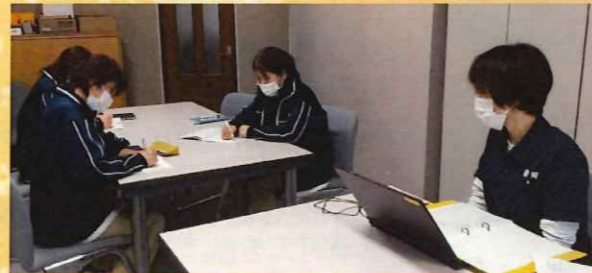
- ・専門研修課程Ⅰ
- ・専門研修課程Ⅱ

介護に関する相談を受ける専門職としての能力の保持と向上を図るため更新研修を受講する必要があります。令和6年度は2名のケアマネジャーが全日程をオンラインで受講しました。



名香山苑在宅介護支援センターは、介護保険法の要件を満たし、専門性の高い職員や支援困難ケースへの対応など事業所全体としてより質の高いケアマネジメントを実践し、特定事業所加算Ⅱを取得しています。

介護に関するお困りごとはお気軽にお電話ください
電話 0255-86-5334



《事業所内研修》

- ・介護保険法令
- ・対人援助・接遇・ハラスメント
- ・生活保護
- ・事例検討会



《ケアマネ広場》

第1回ヤングケアラーについて
第2回障がい者福祉について
第3回事例研究
令和6年度は介護保険外や高齢者以外の対象者の支援について、関係制度や関係機関に適切につなげられるよう必要な知識の習得に努めました。

寄贈物品・金品

・郷戸 頼子 様 より 福祉用具

※同意いただいた方のみ、氏名を掲載しています。地域の皆様・ご家族の皆様より寄贈品及び金品をいただきました。誠にありがとうございました。



苦情申し立て(意見箱Q&A)

ご意見・苦情の申し立てはありませんでした。今後もサービスの向上に努めてまいります。お気づきのことがありましたら遠慮なくご意見をお寄せください。

ボランティア

・随時募集しておりますが、感染症の発生状況によっては時期や内容を相談させていただく場合がございます。ご理解とご協力をお願いいたします。

★掲載している写真は、ご本人又はご家族の了承をいただいております。ご厚意に感謝申し上げます。
★インターネットブログにて、名香山苑の日々の様子を公開しております。表紙にQRコードも載せてありますので、ぜひご覧ください。

名香山苑連絡先

・名香山苑 代表 特養へのお問い合わせや面会のご予約電話 0255-86-5321
・ショートステイ 電話 0255-86-5323 ・デイサービス 電話 0255-86-5332
・在宅介護支援センター 電話 0255-86-5334



令和7年 7月号 Vol.96

社会福祉法人 新井頸南福祉会
特別養護老人ホーム 名香山苑

〒949-2112 新潟県妙高市大字関川733-20
TEL:0255-86-5321 FAX:0255-86-5322



令和6年度事業報告

令和7年 7月15日発行
Vol.96

なかやま

日頃より、名香山苑の事業にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。ご利用者の素敵な表情とともに、各事業の活動の様子をご覧ください。



《基本理念》

心温かな介護を通じ、生きる喜びと感動あふれる地域社会づくりをめざします。

- 1.人と地域を愛します。
すべての人に愛情と感謝の気持ちで接し、住み慣れたこの地域を愛します。
- 2.確かな介護を提供します。
専門性の向上を図り、ともに協力して、一人ひとりに合った介護サービスを提供します。
- 3.開かれた施設を運営します。
公正・公平なサービスに努め、福祉の拠点となる開かれた施設を運営します。



社会福祉法人 新井頸南福祉会
特別養護老人ホーム 名香山苑
名香山苑 ショートステイ
名香山苑 デイサービスセンター
名香山苑 在宅介護支援センター

〒949-2112
新潟県妙高市大字関川733-20
TEL:0255-86-5321
FAX:0255-86-5322
URL:https://www.araikeinanfukushikai.or.jp



特別養護老人ホーム

令和6年度は感染対策による制限はありましたが、ご利用者に笑顔で過ごしていただけるよう取り組んできました。写真で1年を振り返ります。

《自立と尊厳を支えるケア～笑顔ある活動～》

春 天気の良い日は外へお散歩に出かけました



夏 セタまつりで笹寿司を食べました！



秋 敬老会で長寿を祝いました！



冬 クリスマス会でサンタ&トナカイから📺ゲット！



《感染症予防の研修の実施》

日々の感染症対策を徹底しました。感染症の集団発生を防ぐため、看護職員と連携し、嘔吐時の処理対応、ご利用者の状態確認などを含む一連の流れを実技研修しました。



《集団体操》

手足を動かし筋力や柔軟性を維持する他、数を数えながら指を動かしたり、じゃんけんゲームで脳のトレーニングなども行っています。



ショートステイ



令和6年度はご利用者本意のサービス提供、ご利用者・ご家族が安心して利用できる施設となるよう、また多くの皆様に「来てよかった。また来たい。」と思っていただけるショートステイになるよう取り組んできました。

《ICT技術の活用》

見守りカメラの活用により、夜間帯の巡回の負担軽減や、記録映像の検証により再発防止に向けた取り組みを行いました。

《感染症対策と業務継続の実効性》

感染対策を徹底するとともに、業務継続計画をもとに感染症発生時の研修やシミュレーションを年2回行いました。

《選ばれる事業所となるための強みの発信》

季節に合わせた行事や集団体操など、楽しみをもって過ごしてもらえるよう活動の時間を設けました。また、認知症状が強い方や医療依存度の高い方も安心してご利用していただけるよう、関係機関との連携を図り対応しました。



デイサービスセンター

令和6年度は、デイサービス内で安全安心に過ごすため環境整備を行いました。また自主訓練用の機材を導入し、質の高い機能訓練が実施できるようにしました。

《通所介護内の環境整備》

入浴環境改善のため座ったままお風呂に入ることができる機械浴を更新し、より快適に入浴できるようになりました。

また電動ベッドの購入やフロアの模様替えを通じて、デイルーム内が快適になり、フロアの動線も安全になりました。動線がスムーズになったことご利用者同士のコミュニケーションの機会も多くなり、より良い人間関係が生まれるきっかけとなりました。



《自主訓練設備の充実》

法改正により要支者に対する訓練は、自立をめざしご自身で実施していただく形へと変化しました。多くの方がご自身での運動が実施できるよう自主訓練設備を充実し環境面から支援しました。

